

東広島市教育委員会定例会（令和５年７月）議事録【議案第16号】

1 日 時 令和５年７月27日（木）午後２時39分～午後４時18分

2 出席者

（１）教育長 市場教育長

（２）委 員 渡部教育長職務代理者、京極委員、島本委員、西村委員
欠席：棚橋委員

（３）事務局 【学校教育部】

江口学校教育部長、神笠教育監、武上学校教育部次長兼教育総務課長、鷹橋指導課長、高橋指導主事、井上指導主事、石田教育総務課課長補佐兼教育総務係長兼管理係長

（４）報告等 山田選定委員会委員長

（５）書 記 奥田主査

3 場 所 本館３階 303会議室

4 議 題

（１）議案事項

議案第16号 令和６年度使用小学校教科用図書の採択について

再開 午後２時39分

○ 市場教育長：再開します。

議案第16号令和６年度使用小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

本日の目的は、教育委員会として令和６年度に小学校で使用する教科用図書について種目ごとに採択することです。

本件の審議については、次のような手順で行っていききたいと思います。

まず、選定委員会委員長から種目ごとに推薦内容とその理由の説明を受けます。

次に、これに基づき、教育委員との質疑応答を行います。質疑応答の終了後、選定委員会委員長には退席をしていただき、教育委員による審議を行います。

そして、教育委員会として種目ごとに教科書を採択します。

それでは、早速、選定委員会山田浩之委員長に令和６年度に小学校で使用する教科用図書採択について、推薦内容とその理由を説明していただきます。

○ 山田選定委員会委員長：広島大学の山田と申します。よろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：それでは、山田委員長、小学校教科用図書１３種目について、説明をお願いします。

○ 山田選定委員会委員長：分かりました。

まず、全体についてお話をしておきたいと思います。最近の教科書はどれもビジュアルになって、しかも大判になってとても分かりやすい形で作成されるようにな

っています。このようなことから、なかなか甲乙をつけがたいところですが、単元の配置の仕方だとか、あるいは言語活動、特に話し合いだとか、どのように子供たちに考えさせようとするのかというところで、少し違いがあると考えております。

特に令和6年度からの教科書の大きな特徴としましては、前回から二次元コードが付くようになったのですが、ほとんどのページに二次元コードがあるような感じ です。大量の二次元コードがついており、それをたどってデジタルコンテンツをどの教科書からでも見られるようになっていきます。どれも内容は充実しているのですが、そこに少し違いがあるもの等がありますので、そのあたりも含めて今回検討しました。

特に二次元コードに関しましては、視点の中に入れるかどうかということを選定委員会のほうで議論はしたのですが、まずどういう状況なのかというのをまだ十分に把握できていないということもありますし、内容の表現・表記、観点等、あるいはほかのところとも関わることで、今回特に二次元コードだけ取り上げて観点にするということとはしておりません。ただ、それぞれの観点の中で二次元コード、デジタルコンテンツが有効に使われているものについて、効果について評価はしております。

ではまず、国語科についてです。

国語科は、いずれも単元が効果的に配置されており、基礎的・基本的な知識の定着ですとか、言語活動の充実というのは、いずれも優れておりました。ですが、第1推薦、第2推薦の図書につきましては、特に主体的な学びを引き出す工夫ですとか、内容の構成、配列というところにいろいろな工夫がされておりました。

特に第1図書、東京書籍のものは、まずはビジュアルに訴えかけるような、教材の始めに大きな絵を提示しておりまして、その後に教材を提示し、そしてそこで学ぶべきもの、言葉の力ですとか、あるいはどのように学ぶかという学習の流れというものを明確に示しています。

あと、読むことと書くことの領域の間に、単に読むこと、書くことというだけではなくて、その間をつなぐような、これはたくさんあるわけではないのですが、情報の扉という項目をつくっておりまして、その情報の扉を読むことでスムーズにつながる工夫がされておりました。

第2図書、光村図書はオーソドックスなつくりになっていまして、効果的だとは思いますが、ビジュアルさですとか、読みと書きの間をつなぐような工夫のところ、少し東京書籍の方が優るのではないかとということで、光村図書を第2推薦としております。

国語科については以上です。

では、書写についてお話をさせていただきます。

書写につきましては第1図書が光村図書、第2推薦が教育出版社になっております。

国語とは推薦の順位が違うのですが、特に使用には問題がないということ

で、光村図書を第1推薦の図書としております。

まず、第1推薦、第2推薦の光村図書と教育出版社に関しましては、それぞれ単元が分けられていて分かりやすく説明されていると同時に、主体的な学びができるような工夫がされています。それぞれ子供たちにしっかりと考えさせるような工夫がされています。

中でも光村図書は、擬態的用語を使ってどういうふうを書くかというイメージを膨らませたり、あるいは二次元コードを使ったビデオですが、書き方のビデオの例というのがありまして、それがほかのところは上から見た感じで書き方を示したりしているのですが、光村図書はそれと同時に斜めからも撮っておりまして、分かりやすくなっています。

また、学習の進め方として、「考えよう、確かめよう、生かそう」という3段階で示されていて、子供たちが自分で主体的に書写を学ぶような、そういう工夫がされています。

教育出版社は、こちらもよくできていて、特に日常生活にどのように生かすかということについてはかなり工夫が見られるのですが、学習のポイントや、あるいは学習の進め方の示し方、あるいは内容の表記、ビデオの示し方、これが光村図書が優れているので、第1推薦にしたということです。

では、社会科に参ります。

東京書籍を第1推薦、日本文教出版を第2推薦とさせていただきます。

社会科は、これもどの教科書もビジュアルになっていて、分かりやすくなっております。資料の提示の方法等が工夫されているのですが、特に東京書籍と日本文教出版については資料も豊富で、そしてあと言語活動の充実、話し合いですとか考えるという、そういうことについて優れていました。

特に東京書籍は、これは言ってしまうと、かつてのチャート式の参考書のような形で分かりやすく、そしてポイントがまとめられていまして、きちんと重要語句というのを明示していますし、あるいは学びのポイントとしてそういったものが示されています。また、これも二次元コードでウェブ上に動画ですとかデジタルコンテンツが多く示されています。

あと、高学年、5年生、6年生は2分冊になっています。6年生は、歴史とそれ以外という形で2分冊になっておりまして、5年生、6年生の教科書は分厚いのですが、それが半分になっているので、持ち歩きやすいといえますか、かさばらないような、そういう工夫もされています。

日本文教出版のほうも分かりやすくできていますし、学びの進め方なども明示されていてよくできてはいるのですが、東京書籍と比べますと、二次元コード等でも教材の示し方ですとか、あと話し合いの言葉も東京書籍のほうがしっかりと深い話し合いをするような問いかけになっておりまして、その点で東京書籍を第1推薦、日本文教出版を第2推薦とさせていただきます。

次に、地図に移ります。

帝国書院を第1推薦、東京書籍を第2推薦とさせていただきました。

地図は、東京書籍と帝国書院の2社だけです。これは見ていただいたら分かるのですが、帝国書院のほうが、図版が少し大きくなっていて、特に地方に関するもの、例えば中国地方、中四国地方というのが、大きく見開きになっているので、例えば東広島市もそこで把握しやすくなっています。

あと、最初に使い方を示すページというのが何ページかあるのですが、それも帝国書院のほうは充実していて、分かりやすく地図の使い方を学べるというふうになっています。しかも、二次元コードによって資料をいろいろ見ることができます。

東京書籍のほうもよくできていますし、資料も豊富にあるのですが、少し地図が小さくて、その後各地方を見るときに少し分かりにくくなっているという点で、少し帝国書院の方が優ると考えております。

次に、算数科です。

東京書籍が第1推薦、第2推薦が大日本図書になります。

算数科につきましても、いずれの教科書も充実しているのですが、東京書籍の教科書というのは分かりやすく、まさにこれもチャート式のような形でポイントが明確になっているということ、あと、コンテンツ、例えば問題とかが少し字が小さくはなるのですが、たくさんのコンテンツとか問題ですとか例題、そういったものが示されておりまして、そういう意味では深い学びというのが可能になります。あと、それに加えて二次元コードで補充の問題などもありますので、様々な学び方というのが可能になります。

また、二次元コードのほうでマイノートというページがありまして、東京書籍のものはマイノートによって自分の学習を深めようというもので、自分のノートをどのようにつくるかということを強調しています。実際の例がデジタルコンテンツの中で見られますので、そのあたりを見ながら子供たちが自分で学習を進めることができるようになっています。

第2図書のほうも数多くのコンテンツがありますが、東京書籍ほど豊富なコンテンツとは少し言えないところがあります。また、言語活動の充実等でも優れてはいるのですが、コンテンツの並べ方ですとか提示の仕方という点で東京書籍のほうが優れているという判断です。

次に、理科です。

理科は、第1推薦が大日本図書、第2推薦が東京書籍になります。第1推薦、第2推薦の図書はどれも紙面が大きくて、写真や図を多用して分かりやすいです。また、現実的なもの、身近なものとして理科の題材が提示されていたり、実験の仕方などが細かく示されたりしています。

その中でも、特に第1推薦とした大日本図書につきましても、内容を詳細につくられていて、小学校で単に観察したり、実験をしたりというだけではなくて、科学的にどのように考えるかということが示されているというように考えています。問題の提起、そしてそれをどのように予想するか、仮説を立てるかということ

です。それに対して観察や実験を行い、それを考察して結論を出すという、そういう科学的な思考の段階というのが明示されていて、それに従って教材というのが並べられていますし、それを子供たちが考えられるような問いかけが各章でされています。大日本図書はかなり深く科学的に自然現象を掘り下げる工夫がされています。

東京書籍もよくできてはいるのですが、大日本図書の方がしっかり掘り下げておりますので、その点、大日本図書のほうを第1推薦としております。

次に、生活科です。

第1推薦を東京書籍、第2推薦を啓林館とさせていただきました。

6社、6種類の図書、生活科はどれも分かりやすく、子供たちの興味を引くような工夫というのがどの会社もされておりました。しかもユニバーサルデザインを使っていて、少し障害のある子でも問題なく内容を理解できるような、そういう工夫がされています。

特に、推薦する東京書籍と第2図書として推薦する啓林館につきましては、多様な言語活動を行うための表現や表記の面でいろいろ工夫がされております。実は、第1推薦と第2推薦、どちらも優れていると考えておりました、分かりやすく教材が提示されています。特に東京書籍のほうは、図版での例示というのが多くて、しかも子供たちの考え方をいろんな形で導くような工夫がされています。

第2図書も、実は同じような形で、ビジュアルで分かりやすいのですが、少しの差ですけども、東京書籍のほうがびっくりマークですとか、クエスチョンマークとかをうまく使って、そのあたり目を引くような感じで配列がされています。その点で東京書籍のほうが優れているということで、第1推薦を東京書籍としております。

次に、音楽科になります。

音楽科は2冊のみです。第1推薦が教育芸術社、第2推薦が教育出版になります。

教育芸術社のほうは、題材や教材が系統的、発展的に構成されていて、内容を把握しやすくなっています。また、題材の中では、一つの教材を基にそれを発展的に示すようにされていたり、グループで活動したときにどのように考えるかということが吹き出しの中に示されたりしておりますので、分かりやすくなっております。また、二次元コードをたどりますと、最後のほうにあるのですけれども、自分で作ったものをそのまま演奏するというような、そういうアプリ的なものも掲載されているそうです。

ただ、第2図書のほうもよくできてはいるのですが、話合いのことなどに関しましては、教育芸術社のほうがかなり優れているところがありまして、言語活動という点ではかなり教育芸術社のほうが優れている点などから、教育芸術社を第1推薦としております。

次に、図画工作科です。

第1推薦が開隆堂、第2推薦が日本文教出版になります。こちらは、2冊のみです。

開隆堂は、いずれもビジュアルになっていて、前から言われているのですが、開隆堂の教科書というのは絵がきれいに提示をされているので、それだけでも鑑賞に堪えると言われています。

ただ、日本文教出版のほうも決してその点で劣っているわけではなく、かなり優れてはいるのですが、開隆堂のほうはその部分では少し有利かもしれません。

あと、開隆堂のほうを第1推薦とした大きな理由としましては、学びの資料という形で巻末に表現に必要な用具の使い方ですとか、あるいは技法、材料、そういったものについての解説が写真を使って表現されております。しかも、使い方、技術的にどのように使うかみたいなことを二次元コードとかビデオで見ることができます。そのような工夫がされていますし、他教科との関連が開隆堂のほうでは強調されていて、併せて学ぼうというので、ほかの教科とどのように関連するかということが明示をされています。日本文教出版のほうもよい教科書だと思うのですが、その点、そういった他教科との関連ですとか、あるいは用具の使い方、そういった点で開隆堂のほうが優れているということで第1推薦としております。

次に、家庭科です。

家庭科も2冊のみ、東京書籍と開隆堂で、開隆堂を第1推薦としております。

開隆堂の特徴としましては、細かく単元を説明しているというところがあります。東京書籍はチャート式の参考書のような感じというふうに申しましたが、ここでも家庭科の教科書もよくできていてそのようになっているのですが、開隆堂のほうも細かくそれぞれの単元について説明しているという特徴があります。

それと開隆堂のテキストのほうは、キャリアインタビューという項目で、衣食住の生活ですとか消費生活や環境等に関わる仕事をする方々の話というのを多く掲載していて、将来を見据えたような家庭科の教育というものがこのテキストによって可能になりますし、子供もそれを見ることで、家庭科の教材と現実のキャリアというものを結びつけることができるというふうに考えられます。ですので、その点で開隆堂を第1推薦としております。

次に、保健です。

保健のテキストもビジュアルで分かりやすくできております。その中でも、東京書籍を第1推薦、大修館を第2推薦としております。

東京書籍のほうは、内容が項目別に分かれていて見やすくなっておりますし、見た目も分かりやすいのと、あとこちらにも深い話合いができるような問いかけとなるよう、それぞれの単元に応じてかなり質問を工夫されて問いかけられているという形になっています。

大修館のほうは、単に話し合おうみたいな感じで問いがされていますが、実際に内容をかなり深くまで話合い活動の中で議論できるというふうに東京書籍はなっておりますので、その点は特に東京書籍の特徴ということで、こちらを第1推薦とし

ております。

次に、特別の教科 道徳です。

道徳は、選定委員会のほうで、どの教科書もよくできているのですが、細かいところまで書き過ぎていると指導がしにくいのと、子供たちに考えさせることができないというので、あまり丁寧に具体的にどうだというふうに書いてあることよりも、それぞれしっかり子供たちに考えさせるほうがよいのではないかというので、そうした工夫がされているものということで、第1推薦を光文書院、第2推薦を東京書籍としております。

第1推薦の光文書院のほうは、学習の中で「授業が終わっても」という文言を入れておりまして、要するに授業の中だけで道徳のことを考えるのではなくて、授業が終わった後もその部分についてしっかりと考えるような工夫がされています。また、話合いがとても重視されていまして、どのように話し合うのか、何を話し合うのかということについて詳細な記述がされています。

東京書籍、第2推薦ですけれども、これもよくできてはいるのですが、自分について考えたりとか、あと学んだことを先ほどのような生活に生かす、授業以外の場面でも生かしていくという点では、光文書院の方が優れているということで、光文書院を第1推薦としております。

最後に、外国語科です。

外国語科の教科書はきれいな絵で描かれていまして、6社の図書、どれも分かりやすく、教材も提示されています。その中で第1推薦として東京書籍、第2推薦として三省堂を上げております。

東京書籍のほうは、単元を分かりやすく並べてあり、それぞれで何を指すのかということも明示されております。それと、学習段階ごとに振り返りができるような構成になっています。あと、書き込むところがあるのですけれども、そこにずっと英語の4線が示されていまして、その4線を使って書き順ですとか、アルファベットの書き方ですとかを示すような工夫がされていて、丁寧に初学者といえますか、小学生でも外国語を学べるような工夫がなされているということです。

第2図書の三省堂のほうは、幾つかの単元を一まとまりにして語句を提示するみたいな形になっていまして、そのあたりは工夫されていると思うのですけれども、第1図書の方が、4線で示されていたり小学生が学ぶ上での工夫がされていたりするという点で、東京書籍を第1推薦としております。

以上で全ての説明になります。よろしくお願いします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

それでは、質疑応答に移ります。

どうでしょうか。まず、種目ごとに質問をいただきながら、質疑応答を行い、最後に全体ということで進めたいと思います。

まず、国語の中で何かありますでしょうか。

○ 京極委員：説明ありがとうございます。国語の場合、ビジュアルとか写真などがたく

さんあったほうがいいのか、理解をさせるためには、それが少ないほうがいいのか。小学生の国語の教え方は、ビジュアルの捉え方はどう考えればよろしいでしょうか。

- 山田選定委員会委員長：考え方としては、2通りあると思うのです。ビジュアルなもので引きつけるほうがよいという考え方と、それよりはしっかりと文字を読ませると、文字で逆に想像力を高めさせるという、そのほうがよいという考え方もあるかと思います。

どちらを取るかみたいな形になるのだと思うのですが、今回に関しましてはビジュアルの提示の仕方が面白くて、最初に見開きで大きな絵をぼんと出していて、それで引きつけられるような、そういう形に東京書籍のほうの方が分かりやすく優れているのではないかとこのように判断をしています。ただ、それが絶対によいのかと言われると、そこは分からないところもあります。

- 京極委員：ありがとうございます。多分小学生の国語はすごく難しいと思うので、絵を見て想像すれば、まずいいのかなと思います。高学年になれば、文章からある程度想像して理解をしていくことになるのかなというふうに思います。どうもありがとうございました。
- 市場教育長：そのほか国語について何かございますか。
- 渡部教育長職務代理者：幼児の本のカテゴリーとして絵本というのがありますが、まさにぱっとビジュアルで引きつけられて、何だろうということでしたっきり読んでみたいとか、そういうのは低学年の子供たちにはあるのではないかと。高学年のほうでも、レベルの高い内容でも、そういう科学的な発見になるだとか、そういうふうに興味関心を持ってしっかり読んでみたいという、そういう意欲が湧いてくるのかなというふうには思っております。そういう子供に対してアピールというか、最近のは絵もきれいだし、写実的なものもありますし、そういう印象をもちました。まずは、子供がよし読んでやるぞという、そういうアピールというのは大事なことでと理解してよろしいでしょうか。
- 山田選定委員会委員長：まさにそのように考えております。中学生、高校生になると大分変わってくるのですが、それでも効果的な挿絵があるというのは、集中力を保つ上では重要なのだらうと思います。ただ、文字だけでどのようにイメージを膨らませるかということも重要ではありますので、それはそれで必要だと思うのですけれども。教科書として関心をどのように引くかということは、ビジュアル的な部分にかかっているところはあると思います。
- 渡部教育長職務代理者：ありがとうございました。
- 島本委員：説明ありがとうございました。SDGsのことですが、どの教科で取り上げたらいいのか、全部の教科が取り上げるのがいいのかよく分からないところです。光村図書と東京書籍の大きな違いは、光村図書は特設して関連するところを設けているわけですが、私が見る限りは、東京書籍はそれをあえて扱われなかったのか、その辺の扱いについて何か意見があったら教えてください。

- 山田選定委員会委員長：光村図書のほうは、SDGsのこと、そのテーマを教材にして提示をされていて、しかもそれとのかの関連みたいなのを取り上げているのですが、ほかでもSDGsのことというのはいろいろ社会ですとか理科ですとか、そのあたりでもかなりたくさん出てきますので、特にここで、絶対に国語であるべきとは考えませんでした。そこを考慮するということは意識しておりません。
- 島本委員：ありがとうございました。
- 西村委員：御説明ありがとうございます。光村図書のほうはオーソドックスなつくりでというふうにおっしゃっておられたのですが、今の子供たちというのはとても視覚的なものから物事を考えるというか、だんだん書くことよりも視覚効果で、視覚で学ぶというような傾向が出ているように子供たちを見ていると思うことがあります。東京書籍のほうで絵や写真が多いということは、きっと国語という教科の理解への助けになるのではないかということで、この教科書を使用することによってどのようなまた子供たちの国語の学びができるかというのに期待を持っております。ありがとうございます。
- 山田選定委員会委員長：オーソドックスと言いましたけど、光村図書も図版は使われているので、決して昔のような文字だけの教科書というわけではありません。ただ、提示の仕方がそんなに東京書籍ほど大きくはない等、文字情報が重視されているというような印象を受けるような構成になっているので、オーソドックスという言い方をさせていただきました。決して光村図書がビジュアルで劣っているというわけではないです。
- 西村委員：たくさんあったように思います。ありがとうございます。
- 京極委員：国語科は少し高学年になってくると、書かせることは、結構大事だと思うのです。先生方の導き方もあるかと思うのですけれど、東京書籍のほうを書くところまできっちり出されて、導かれてというような形になっているのでしょうか。
- 山田選定委員会委員長：読むと書くというのは、どの教科書でも強調されているのですけれど、東京書籍は、情報の扉という項目が、そんなにたくさんあるわけじゃないのですが、2つか3つ提示されていまして、どのようにして読むことと書くことを結びつけるかみたいなことがそこで提示をされていて、どのように情報を集めてくるのかとか。ですので、それぞれが独立しているものというよりも、連なったものとして東京書籍のほうは扱われているところがあります。その点、東京書籍のほうがそのあたり分かりやすいのかなというふうに思います。
- 京極委員：ありがとうございます。
- 市場教育長：ほかにありましたら、また最後をお願いしたいと思います。
続きまして、種目、書写についていかがでしょうか。何かありましたらお願いします。
- 渡部教育長職務代理者：きれいに教科書ができているのでびっくりしました。東京書籍のほうは、書写のほうで体操を入れているのです、こういうところに、ストレッチ体操のような。それがユニークだなと思いました。そういう観点から結構新しい

対応をしているかなと印象に残りました。

- 島本委員：書写のほうも光村図書はSDGsをすごく意識されていると思ったのが、筆洗いをペットボトルで洗うなど、ちょっとしたことが、細かいなというような感じを受けました。きれいに正しくきちんと書くというだけでなく、用具の扱いを通して環境にもつなげたというところについては、それを見てほっとしたなというのを思いました。ありがとうございます。
- 市場教育長：続いて、種目、社会について質問があればお願いします。
- 島本委員：社会科のほうですが、自然災害とかについては、今、全体的な表記の部分はあったのですが、内容として前回から自然災害をどこに入れるかというのと、あと環境というのがあって、どこにも入ってはいるのですが、その辺りのウエートというか、先生方の扱いの濃さとか、あと広島県が出ているのが東京書籍のほうですかね、広島県地図が出ていたりとか。そのあたり、話題にあったら教えてください。
- 山田選定委員会委員長：そんなにたくさん出ているわけではないのですが、各学年で広島県が少しずつ出ています。2年生でしたか、4年生かでお好みソースのことが紹介されていたり、5年生で平和についてのことというのが広島を題材にして提示されたりしています。

災害については、次の地図のほうでもそうですが、それが数ページ取ってありまして、そこに実際にどういう災害がこれから起こり得るのかということ、あるいはハザードマップのつくり方ですとか、そういうことが追記されたりしておりますので、かなり重きを持って示されているというふうに考えております。
- 市場教育長：それでは、種目、地図はいかがでしょうか。
- 渡部教育長職務代理者：地図は、地方のところ、このほうはすっきりして読みやすいと思います。第1候補はそういうふうに理解しました。たくさんの中にあるのではなくて、要点を絞って書いている、そういうめり張りがきいているので、分かりやすい点を理解しました。
- 山田選定委員会委員長：おっしゃるとおりで、大きく地方が示されていますので、そのあたり、分かりやすくなっています。広島のことでもそこでよく分かるような形になっていると思います。
- 島本委員：地図と言え、以前のイメージは見るものというイメージだったのですが、今は、地図は読むものというところで、自分の考えを文章で表そうというのが出ていました。見て、いろんなことを絡めて自分の考えを文章で表そうと。今後、地図帳というものに書き込んだりとか、それから自分の考えというのをまとめたりというのは、これから出てくるものなのではないでしょうか。
- 山田選定委員会委員長：単に地図を見たり調べたりするだけではなくて、それをアクティブに使うというのはこれから増えてくることだと思います。先ほども言いましたハザードマップにつきましては、単にハザードマップを提示するのではなくて、どのように作るかみたいなことが帝国書院の地図帳の中には示されていますので、

それを使って自分でいろんなものをつくっていくというような。地図帳をきっかけにしてそれをいろんなものに使ったりいろんなふうに自分で考えて、話し合ったりするというようなふうに今後広がっていくものだと考えています。

- 島本委員：ありがとうございます。
- 西村委員：2つの地図のほうですけど、観点が1から5までである中で、結構両方で共通する事項が、お互いというか2つの中で多かったなと思いました。その中で特に帝国書院のほうでは、先ほどからも言われています防災マップづくりについて分かりやすく表記されていたので、地図を子供たちが自ら足で歩いてつくってみるという活動につながるような示唆がありました。今の子供たちは、グーグルマップですとか地図の見方というの、紙面上ではなくてビジュアル的ということにもなってくると思うのですが、まず基本は実際の建物ですとか、場所とか、そういったものを見て作るということを学ばせるのにもとても有効なことだと思っております。ありがとうございます。
- 市場教育長：では続きまして、種目の算数の質疑をお願いします。
- 京極委員：私は東京書籍のマイノートというのがすごくいいなと思って評価をしています。まず、算数は、子供たちが分からなくなるところが多分あると思うのです、分数だとか図形の結構複雑なものとか。東京書籍は、結構そこら辺もかなり分数の計算だとかもボリュームがあったような気がするのですが、他の書籍と比べて、そのあたりはいかがでしょうか。
- 山田選定委員会委員長：コンテンツの量に関しましては、今回、第2推薦の大日本図書もかなりの量はあります。振り返るという工夫もされています。それがもっと分かりやすくなっているのと、あとマイノートの形で、自分でどう学んでいくかということで、東京書籍のほうがつまずいたときにどう対応するかということに関しては、そのフォロー等がよくできているように考えています。
- 京極委員：ありがとうございました。
- 島本委員：プログラミングのことですが、多分この時期に出たものだと思うのですが、どの教科で扱えばいいのかなというのがあります。あえて算数でいくと、東京書籍は4年以上に特設してそれを設け、大日本図書は全学年で発達段階に合わせて設けているというふうに出ているのですが、プログラミングをどういうふうに算数で扱うかというのはどんな感じですか。
- 山田選定委員会委員長：具体的にどうするかというのは、現場の先生が実際どうするかということになるので、何とも言えないところです。恐らく基本的なプログラミングの考え方みたいなことは、1年生の頃から東京書籍を使わなくてもそういうことというのは多分少しずつ積み上げていくような形になると思います。仮に、教科書に従って4年生からでも十分プログラミングについては、基礎的な考え方というのをまず身につけるということが大切ですが、そういうことの習得というのは十分できるかと思います。

あと、最近はソフトがよくなっています。小学生が学ぶためのプログラミングの

ソフトみたいなものがたくさんあって、しかもよくできていますので、そういったものをうまく組み合わせながら恐らく進めていくという形になるのだらうと思います。タブレットを使ってという形になるかと思います。

- 渡部教育長職務代理者：算数科の本質的なことではないと思うのですが、この教科書のページの裏のほう、裏表紙のところですか。ここにプログラマーだとか、本のイラストレーターだとか、折り紙作家だとか、そういう人の顔とコメントを書いています。ユニークだなと思って。東京書籍は、そういうシステムがしっかりしていて驚きました。子供たちもそれを見て、そういう人たちの関わりから、将来自分はそういった職業に就こうかとかのイメージをさせるかなと思いました。
- 市場教育長：続いて、種目、理科へ移りたいと思います。質疑がありましたら、お願いします。
- 京極委員：確かに大日本図書と東京書籍はつくりが結構似ていて、どっちがどうかなところもありました。先ほど幾つかお話がありましたけども、決定的な違いというのはあったのですか。
- 山田選定委員会委員長：東京書籍のほうは、悪く言うわけではないのですが、少し大ざっぱな感じに取れます。というのも、大枠だけでやや進めていっているようなところがあって、小学校の理科なので、それでも構わないです。むしろそのほうがいいというふうに考えられる方も多いのではと思うのですが。一方で、大日本図書のほうは、細かくプロセスを見ていくという形になっていまして、だからそのところでかなり大きく違っていると思います。実験をするにしても、大日本図書のほうはそれをどういうふうに問題設定をして、仮説を立てて、検証するか、それをどのように考えて結論としてどうまとめるかという、そのような過程が全て明示されているわけです。科学的にどのように考えるかということを深く突き詰めるためには、大日本図書のほうが優れているというふうに言えると思います。大枠、理科として知識を明確につけるという意味では、東京書籍のほうでも恐らく十分だろうと思うのですが、それをさらに突っ込んでいくというところで大日本図書のほうが今回は優れているという評価になったということかと思います。
- 市場教育長：では、続きまして、種目、生活科の質疑をお願いいたします。
よろしいですか。またありましたら、最後をお願いします。
続いて、種目の音楽科についての質疑をお願いします。
- 渡部教育長職務代理者：音楽科の中で、各地の民謡を紹介したところがあるのですが、広島県の民謡音戸の舟歌が入っているので、評価したいです。
- 山田選定委員会委員長：身近な音楽が重要です。特にこれから音楽をいっぱい聞く時期でもありますので。
- 市場教育長：これは意見ということですね。
では、続いての種目、図画工作科について質疑をお願いします。
- 京極委員：先ほどご説明があったように、図画工作科は、最近の子は安全面というのがすごく大事なので、確かに開隆堂はちゃんと書かれているので、すごく大事なこ

とだなというふうに思いました。

- 市場教育長：こちらもご意見ということですね。

続いての種目、家庭科について質疑があればお願いします。

よろしいですか。質問がございましたら、最後をお願いします。

続きまして、種目、保健についてお願いいたします。

- 京極委員：第1、東京書籍のほうで日常的なことできっちり書かれていたような気がするのですが、そこらあたりはほかの教科書との差はあったのでしょうか。

- 山田選定委員会委員長：ほかの教科書も身近な例を使ってその単元の事例を示しておりますので、東京書籍だけが突出して身近な例で優れているというわけでは決していないかと思います。ただ、東京書籍は、そのあたりを分かりやすく示されているのも確かで、その点では東京書籍の保健の教科書は分かりやすくて。ポイントもあまり情報をたくさん詰め込まずに、分かりやすく提示されているというところがあると思います。そのあたりはよくできた教科書だというふうに考えています。

- 渡部教育長職務代理者：6種類の本があったわけですが、どれも子供たちの成長、発達の中で性の問題を共に取り上げておりました。最近話題のLGBTなども直接扱っていないのだが、個人差があることをきちんと書かれているという対応がありました。最近のコロナの問題でもインフルエンザとの関わりできちんと理解できるように書かれていました。

そういう中で、先ほどご説明がありましたように、東京書籍も思考力・判断力の向上の工夫、対話的な工夫がなされていたと感じました。

- 市場教育長：そのほかよろしいでしょうか。

では、続きまして種目、特別の教科 道徳について、質疑がありましたらお願いします。

- 島本委員：第1の光文書院が「へこんでも立ち直る」というコーナーがありました。そういうのを取り上げられているというのは、大切なことだと思いました。こういう言い表し方もまた子供にとっては分かりやすいなと思いました。ほかにもこれについて意見が出たとか、この必要性というのについて何かあったら教えてください。

- 山田選定委員会委員長：特にこの項目について選考委員で意見が出たわけではないのですが、光文書院のほうがいろいろな事例で考えさせるような題材を取り上げていまして、我々も読んでいて、その直後、これどうだろうとかと考えてしまうような、面白い題材の上げ方をされていると思います。ですので、「へこんでも立ち直る」というのも、しっかりと自立するということを示すという意味でも、重要なのではないかと思います。

- 市場教育長：ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、最後、種目、外国語科についてお願いします。

- 京極委員：外国語科に関しては、内容にレベル差があったような気がするのですが、そこらあたりはいかがでしょうか。

- 山田選定委員会委員長：東京書籍はかなり詳しいほうだというふうに思います。表現的なものというのもありますけども、このあたりをどのように使うかというのは、現場の先生の工夫だというふうに思います。
- 京極委員：それこそ、小学生の外国語は、先生方も指導するのが大変だろうと思うので、どのレベルでやるかというのは結構大変だろうと思います。東京書籍、私は開隆堂あたりも似たような内容だったのかなと思うのですが、そういう面では、きっちり書かれているという意味では、東京書籍がよかったのかなと思いました。ありがとうございます。
- 山田選定委員会委員長：正直、小学生がここまでやる必要があるかなというふうと思うところもあるのですが、コミュニケーションというのを多分重視をされていて、コミュニケーションを取るためにはこれぐらいのものというのを多分考えられているのだと思います。
- 市場教育長：このことに関連して何かありますか。よろしいですか。
そのほかの質疑で外国語科についてありますか。
では、一通り各種目について質疑応答を行わせていただきましたけど、全体を通して何か質疑があればお願いいたします。
それでは、委員の皆様からの質疑も尽きたということで、これで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 委員：よろしい。
- 市場教育長：ありがとうございました。
それでは、山田委員長は退席のほうをお願いします。ありがとうございました。
これからは、委員の皆様による審議をお願いしたいと思います。
審議は国語科から外国語科のそれぞれの種目の順番に行いたいと思いますが、先ほどの質疑応答の中でもかなりご意見があったと思います。
それでは、それぞれの種目ごと、改めて質疑、ご意見があればお願いしたいと思います。
種目、まず国語科について、第1推薦が東京書籍となっておりますけども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
続きまして、種目、書写について、第1推薦が光村図書となっておりますけども、これについてご意見があればお願いします。
続きまして、種目、社会科、第1推薦が東京書籍となっております。何かご意見があればお願いします。
続きまして、種目、地図、第1推薦が帝国書院となっておりますが、ご意見がありましたらお願いします。
続きまして、種目、算数科について、第1推薦が東京書籍です。審議ということで何か意見交換とかがありましたら、お願いしたいと思います。
- 渡部教育長職務代理者：算数科については、先ほどご説明があったように、東京書籍はより詳しく書いていると思いますので、私はいいと思います。

- 島本委員：中学校を意識した書き方がどこにもあるのですが、東京書籍は、最後、卒業旅行とかということで、好きなコースを選んで勉強するという、中学校体験入学入門コースや国際コース等、4つコースがあるのです。選べるというものも入れて組まれているというところも面白いなと思いました。楽しい算数が期待できると思いました。
- 市場教育長：そのほかご意見がありましたら、お願いします。
 続きまして、種目、理科について、第1推薦が大日本図書となっております。何かありましたら、お願いします。
- 渡部教育長職務代理者：先ほど丁寧にご説明いただいたのですが、体系的にきっちり理解をさせるという内容になっているということです。大日本図書でいいのかなと思います。
- 市場教育長：ほかにはよろしいでしょうか。
 では、続いて種目、生活科について、第1推薦が東京書籍です。意見であるとか、また付け加えでありますとか、何かありましたらお願いします。
 では、続きまして種目、音楽科、第1推薦は教育芸術社ですけれども、これについてご意見があればお願いします。よろしいでしょうか。
 続きまして、種目、図画工作科、第1推薦が開隆堂となっております。ご意見があればお願いします。
- 京極委員：先ほどご説明していただいたように、安全面のほうがしっかりと配慮されているということで、第1推薦の開隆堂がいいと思います。
- 市場教育長：ほかにはよろしいですか。
 続きまして、種目、家庭科について、第1推薦が開隆堂です。ご意見があればお願いします。よろしいでしょうか。
 続きまして、種目、保健について、第1推薦が東京書籍となっております。ご意見があればお願いします。
- 渡部教育長職務代理者：全般的に発達段階で、子供たちの身体、特に生殖に関する記述が適切になされていたと思います。第1候補がいいと思います。
- 市場教育長：ほかにはよろしいですか。
 続きましての種目、特別の教科 道徳について、第1推薦が光文書院となっております。何かご意見がありましたらお願いします。
- 京極委員：先ほど言わなかったのですが、副題がついています。東京書籍だけ副題がなく、副題を見ると、プラス思考というか、そういう形の副題がついているので、どこも。東京書籍だけついてないので、なぜだろうと思ったのですが。いじめの内容みたいのところ、結構よかったというような私は感じを受けたので、そういう面で未来に向かって明るいというようなことも見せる点では、光文書院、豊かな心ということについてそのように感じました。
- 市場教育長：ほかにはよろしいですか。
- 島本委員：東京書籍が最後に考えるためのツールということで、シールを貼るような

ところが裏についているのです。学んだ後に教科書を切るという形にはなるのですが、活用としては面白いなというふうに思いました。だから、第2候補ではあるのですが、そういうところも工夫されているのがよく分かりました。

第1候補の光文書院も、そういう意味では学びの足跡もつくるようになっていきますので、今、教科書に書き込んだりとか、切って動かしたりとか、それを評価に使う、振り返るというのが出ているのは面白いというふうに思ったところです。光文書院で第1候補でいいです。

- 市場教育長：様々な工夫がいろんなところで出ているということであります。

続きまして、外国語科、第1推薦は東京書籍ですが、ここについてのご意見がありましたらお願いします。

- 京極委員：先ほどお話ししたのですが、どのレベルでやるかということだと思います。それで、先ほどの回答だと、今はこのぐらいのレベルをやらないといけないということだったので、そういった意味では東京書籍がレベル的には高いのかなと感じました。また、読むこと、書くこと、話すことが体系的に書かれていた東京書籍がいいかなと思いました。三省堂も小学生だとこのレベルで十分であると感じました。今の東広島の英語のレベルからすると、東京書籍のレベルのほうがよいと思います。

- 市場教育長：レベル差は様々、本市の状況、実態を踏まえると、このレベルでよからうという意見ですね。

- 西村委員：東京書籍ですが、文化探検とか日本探検などの項目で、世界の文化を英語で言ったり、あと日本を英語で表すという項目がありまして、こちらは子供が外国の方と話をしたり日本の紹介をしたりとか、世界の文化を理解するという上で、恐らくこれは年齢に関係なく必要なことなのかなと思います。それが英語の技術が上がっていくと、より詳しく説明ができるという段階になっていくのではないかなと思いました。外国の文化を英語で知る、ないし自分の国である日本のことを英語で表現するというのは、小さなときから意識させると、実際の会話などで役立つものもピックアップされているかなと思いました。

あと、オンラインでの会話という、今まで英語の会話は対面ということが、教科書、昔からそういうのは重視されていると思います。今の子供たちはオンラインで英語のやり取りをするということも考えられると、そういうことも取り上げられている東京書籍の教科書というのは、内容はとても難しいかなと思いました。これぐらいのレベルで勉強していくと、さらに上達というか、子供たちの吸収も早いですし、英語に対する抵抗感、自己表現ですとか、そういったものの心が育つのではないかなと思いました。

あと、東広島市に外国籍の児童が多いので、そういう面では、最初からこのようなところから入って学習していてもいいのではないかなという感想を持ちましたので、東京書籍でいいかなと思いました。ありがとうございます。

- 市場教育長：ありがとうございました。

- 京極委員：先ほど聞き忘れたのですが、ピクチャーディクショナリーというのが別冊になっていたのですね。開隆堂もワードブックと別冊になっているのですが。教科書の中に書いてあるのと別冊になっているのがあって、ピクチャーディクショナリーは多分すごく役に立つのです。海外に行ったときに、日常でいろんな物がある、これ何て言うのだろうか、私が旅行したときに思いました。うちの家内が英会話の学校に行っていた頃、この絵が描いてあるディクショナリーがすごい役に立ったのです。例えば、野菜の名前とかって知らないじゃないですか、我々、ほとんど習うこともないし。だけど、多分子供たちはそういうのを見ていると自然に覚えちゃうので、そういうのは小学校のときからやっていくことが大事なことで、という具合に思いました。
- 島本委員：生活科にしても外国語科にしても、教える側の教師にとっても、何をしたらいいだろうというところがまだあるというふうに思います。今までの算数や国語で教えるのとは、少し新鮮でもあります、抵抗もあつたりもするのだと思います。教科書を教えるわけでないで、教科書で教えるわけですが、そういった面は教師にとっても東京書籍の外国語科の教科書を見ながら教えるというのは効果的であると思いました。
- 市場教育長：今、外国語については、本市の子供の実態であるとか、また教師の実態を踏まえ、こういったレベルのものが適切ではないだろうか、またピクチャーディクショナリー、これについてもこれからも活用できるように、素晴らしいものだというご意見が出されました。
全体として何かございますか。
- 島本委員：二次元コードとかというのが出ていたのですが、教科書の裏に保護者の皆様へというところで、「コンテンツは無料でお使いいただけますが、通信費は別途発生することがあります」とあるのですが、保護者は自費で通信費は払うということですね。
- 市場教育長：二次元コードの資料で通信費が発生した場合、それは保護者負担ということになるのかということですが、事務局、どうでしょうか。
- 鷹橋指導課長：保護者の負担というところですが、例えば何で見るのかにもよって変わるのかなと思います。保護者が持っている自分のスマートフォン等で見られる場合と、児童・生徒が持っているタブレット端末から見られる場合と通信がまた異なってまいりますし、そのあたりは全てこうだということにはならないかなというふうに思います。
- 島本委員：授業中にそれを開いて見ようと思ったとき、今の子供たちが持っているタブレットで対応はできるのですか。
- 鷹橋指導課長：それは対応可能です。
- 江口学校教育部長：補足いたします。どこで使うかで通信料が決まってくるのだと思います。学校でしたら通信環境を整えていますので、子供たちがタブレット端末で二次元コードを読み取って見るのは、フリーで見られるはずです。あと家庭で

見られる場合は、そのWi-Fiの使用料がかかるということになるのだろうと思っています。

○ 島本委員：分かりました。ありがとうございます。

○ 市場教育長：そのほか、全体としてのご意見がありましたらお願いします。

それでは、各委員さんのご意見は出尽くしたと、かつ意見をまとめる方向が見られたということで採択に移りたいと思いますけど、よろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、1種目ずつ採択の図書と採択理由について述べさせていただきます。確認させていただきたいと思います。

まず、国語科は東京書籍とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、東京書籍とします。

選択理由については、理由書にありますとおり、見開き2ページにわたる単元扉にダイナミックな写真や挿絵を掲載し、教材への興味、学習意欲を引き出すとともに、単元で身につけさせたい言葉の力や学習の流れを簡潔に示して学習の見通しが持てるように工夫されている。また、単元の終わりにも見開き2ページの具体的な学習の流れを示すとともに、ノート例、発言例を掲載して児童が自ら学んでいくことができるように工夫されている。また、1単元1領域を原則として指導事項を重点化するとともに、重点指導事項に則した具体的な言語活動が設定されている。さらに、読むことの単元と書くことの単元との間に小単元、情報の扉を配置し、両単元を関連させる学習を設定し、単元間につながりを持たせる工夫がされている、としております。

続きまして、書写は光村図書とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、光村図書と決定します。

採択理由は、始筆、送筆、終筆の動きが様々なキャラクターの動きで示され、すう、ぴた、とんなどの擬態語、擬音語を活用して筆遣いのイメージをつかみやすいように工夫されている。二次元コードにより、上からと斜めからの映像の動画で筆遣いを確認することができる点も、基礎的・基本的な内容を定着させるための工夫として挙げられる。さらに、単元に学習の進め方として「考えよう、確かめよう、生かそう」の3段階が示されており、主体的な学びを引き出す工夫も見られる。また、各学年においては、国語科や他教科等の学習との関連、教材を位置づけ、日常生活や各教科等との関連を図った言語活動を設定することに加えて、第6学年においては、1年生から6年生までに学習したことを日常生活に広げていくことができるよう、「書写ブック」としてまとめている、とします。

続きまして、社会科は東京書籍とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由につきましては、基礎的・基本的な内容が定着できるよう、重要語句を言葉として明示し、「まなびのポイント」として学習活動などを掲載している。また、主体的に学習に取り組む場面では、「つかむ、調べる、まとめる、生かす」の4過程に分けて、社会科学習の進め方について解説してある。単元の最初、「つかむ」のページには、全小単元で動画が準備されており、見通しを持ち、主体的な学びが引き出せるようにしている。さらに、資料が精選され、身近な広島県に係る内容も多く掲載されている。その上、二次元コードによりウェブ上に動画、デジタルコンテンツなどが多く準備され、活用できるようにしている。高学年では、毎学年ごと教科用図書が2分冊で編集されており、持ち運びが容易である。まとめでは、多様なワークシートやまとめ方が準備され、言語活動が充実している、などとなります。

続きまして、種目、地図は帝国書院とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、帝国書院と決定いたします。

採択理由につきましては、地図に関する基礎的な見方、地図帳の基本的な使い方のページが充実しており、構成、配列、表記などの工夫により児童の発達段階を考慮し、3年生からの地図活用を促すことができるようにしている。吹き出しや地図に関する問題形式で児童の視点に立った課題により、特徴的な地形や産業などを地図から見いだすことができ、興味・関心を高めながら主体的に学習を行うことができる。また、地図上に本市が明瞭に表示されており、地図全体も色合いや精選された記号、地名の適切な大きさ、太さにより全体的に地図を読み取りやすくしている。さらに2次元コードによるWeb上の資料の拡大により、学びを深め、広げることができる、とします。

続きまして、種目、算数科は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由につきましては、主体的に学習に取り組む工夫について、動画、「オープニングムービー（授業の導入でも使えるような3分程度の内容）」を適宜設定し、単元に入る前に教科書に表記されている内容とは異なる日常生活での課題発見や学習動機を高める工夫がされている。内容の構成・配列・分量については、1000を超えるコンテンツ量が準備されるとともに、デジタルコンテンツ上の補充問題もある。また、児童がつまずきやすい内容については、全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果を分析し、教科書の紙面上やデジタルコンテンツで繰り返し練習する場を適宜設ける工夫がある。内容の表現、表記については、吹き出しの内容における適切な見通し量に配慮し、児童の発想の源に意識を向ける程度にとどめている工夫がある。言語活動の充実については、「大切な見方・考え方」の内容を固定化しない配慮や巻頭に示されたPDCAサイクルに沿った学び方が抽出単元でリンクして表示し、言語活動を充実させる工夫がある。また、間違った考えを修正

する内容を意図的に取り入れることで、言語活動への必要感を持たせる工夫も見られる、とします。

続きまして、理科は大日本図書とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、大日本図書と決定いたします。

採択理由は、紙面が大きく、写真や図を観察しやすくなっていること、児童の興味・関心・疑問等を持たせる単元の導入、單元ごとに体験活動が仕込まれていること、考える視点をキャラクターが、提示すること等の点で優れている。また、問題解決能力の育成に向け、主にその学年で育成する問題解決能力を発揮する場面や過程に特別な表示がしてあり、児童も指導者も意識して学習を進めることができるように工夫されている。さらに話合いの進め方が例示されており、児童の学習の進め方の習得の参考になっている。加えて、問題と結論（分かったこと）が正対しており、結論（分かったこと）とそれ以外の説明を区別して記していること、また、問題発見や考察場面で科学的な見方を働かせて考えたり話し合ったりすることができるように、「ここに注目」と表示して着眼点を示していること、3点目に、考察場面で考察の話合い例を提示するとともに、予想の振り返りをする吹き出しがあることが挙げられるとします。

続いて、生活科は東京書籍とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由としましては、小單元ごとに「本文」と「マーク」を用いてその活動で育成を目指す資質・能力を明確に記しており、児童にはめあてと振り返りが、教師には指導と評価の一体化が図られるようになっている。巻末には、各社とも思考力・判断力・表現力等の育成に資する観察の仕方や考え方、多様な表現方法などが記載されているが、例示が多く、詳しく児童に指導できる記述となっている。また、単元の途中にも思考の観点やまとめ方等を具体的に示しており、児童が活動途中で巻末をめくらなくても見ることができるので、活動を中断することなく、学びをつなぎ、定着を図ることができる考える、とします。

続きまして、音楽科は教育芸術社とすることによろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：採択理由につきましては、題材や教材が系統的・発展的に構成されている。題材のねらいに即して歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置されているため、基礎的、基本的な内容が無理なく定着できるよう工夫されている。また、題材の中には発展的に学習ができるような内容も掲載されている。さらに感じたことや気づいたこと、楽器を選んだ理由等、根拠や気づきを記述する欄が設けてあることやグループ活動時の会話を想定した吹き出し、図形譜や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで言語活動の充実を図ることができるように工夫されている、とします。

続きまして、種目、図画工作科は開隆堂とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、開隆堂と決定します。

採択理由につきましては、題材ごとに発想の手がかりとなる工夫や気づき、制作している児童の写真に吹き出しをつけて示すことで児童の学習意欲を高める工夫をしている。また、全ての学年において巻末に「学びの資料」を8ページ設け、表現に必要な用具の使い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明しており、特に安全面や片づけ方について注意喚起をする工夫がされている。さらに、用具の使い方を動画で見るための二次元コードも掲載されている。そして、各題材で育てたい資質・能力に対応させた3つのめあてのうち、1つを中心的なめあてとして強調して示し、そのめあてに対応したキャラクターが児童に語りかけることで、児童の学習を深める支援を行うよう工夫されている。さらに、各題材の紙面の下段右に、「あわせて学ぼう」と関連する教科名とともに、具体的な学習活動を想起させる文章を示すことで、教科横断的な学習への手だてとなるように構成が工夫されている、とします。

続きまして、家庭科は開隆堂とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、開隆堂と決定します。

採択理由は、生活の課題と実践例を4つ紹介し、課題発見から解決、振り返りまでを行うような例が示されており、学習したことを生かして主体的に興味を持って学習が進められるように工夫している。また、伝統的な衣食住などの文化に関する特設ページを設け、日本の伝統や文化に興味を持たせることができるようになっていく。また、「キャリアインタビュー」で衣食住の生活や消費生活・環境等に関わる仕事をする方々の話を多く掲載しており、持続可能な未来について考え、学びを将来につなげて捉えることが有効である。加えて、衣・住及びSDGsに関する内容をスモールステップで扱うことで充実した学習ができるようになっている、とします。

続きまして、種目、保健は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由は、児童が発展的に探究学習に取り組むことができる掲載資料が充実している等、教育の充実に関する内容の構成・配列を工夫している。また、教科横断的な学習の充実に関する内容の構成を工夫している。さらに、教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力等の育成に資する言語活動を工夫しているとともに、直接教科書に記述できる等の工夫が充実している、とします。

続きまして、特別の教科 道徳は光文書院とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、光文書院と決定します。

採択理由は、学習の流れに「授業が終わっても」という文言を入れて、自分の生活に生かす示唆を与えている。具体的には、全学年で教材に付随した興味・関心を引くコラムがあるとともに、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を教科や生活の関連で取り入れる等、生活につなぐ工夫がされている。発問は、登場人物の心情の変化を追うだけでなく、道徳的価値そのものについて深く考えられる問いかけになっており、発達段階に応じた思考ツールや話し合いの際に使いたい言葉が例示されており、それらを活用して主体的に学びを考えるような工夫がされている。さらに、現代的課題の一つ、「へこんでも立ち直る」は、低・中・高学年で系統性を持たせ、理解を深められるような配列になっているとともに、各学年に設けられたレジリエンスコラムにおいて自分のよさや可能性を認識でき、自分の心の力について考えることとされている。また、重点主題である「いじめを生まない心」「命を輝かせる」を全学年共通で設定し、重点主題教材では扉のページ→教材1→教材2と複数時間で扱うことで問題意識を持って学び、多面的・多角的に捉えるように構成が工夫されている、とします。

それでは、最後の種目、外国語科は東京書籍とすることによろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由は、各单元とも目指す姿を明示し、各单元に振り返りができるような内容の構成が工夫されている。また、4線入り単語リストや表現例、ユニットごとの基本表現リスト、書くことに対する支援のための4線の第2線を点線で示し、筆順を示す破線フォントも使用するなど、学習を補助する細かい配慮がなされている。

ここまで述べた採択理由に加えて、今日のご意見等も踏まえたいと思います。

以上、令和6年度小学校で使用する教科用図書について採択図書を決定しました。

再度確認をいたします。

国語、東京書籍、書写、光村図書、社会、東京書籍、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、大日本図書、生活、東京書籍、音楽、教育芸術社、図画工作、開隆堂、家庭、開隆堂、保健、東京書籍、道徳、光文書院、外国語、東京書籍です。

事務局におかれましては、経緯の報告と事務手続に滞りのないようよろしくお願いいたします。

ご審議、ありがとうございました。

以上で本日の議題を全て終了いたしました。

それでは、会議を閉会いたします。皆様、ご協力ありがとうございました。

閉会 午後4時18分